

施策カールテ

1 施策の位置付け

						担当課	観光交流課
総合計画 政策の柱	市民の豊かな暮らしを支える活気と活力のある社会を築くために	政策名 (基本施策名)	農林業の付加価値を高める	取組の 基本方向	「農林業の付加価値を高める」ため、担い手の育成や生産基盤の充実などにより、安定した稲作経営を実現するための「安定した水田農業基盤の確立」、農産物の品質を向上するとともにブランド化を推進し、産地間競争に打ち勝つための「農産物の産地力の向上」、魅力や活力ある農村社会を形成するための「農村地域の活性化」、農林業のさまざまな公益的機能を維持・向上するための「環境と調和した農林業の推進」に、重点的に取り組みます。	政策目標 (基本施策目標)	生産力や産地力の向上、良好な農村環境の形成など、総合的に農林業の付加価値が高まっています。

2 施策の現状と達成状況、課題の抽出

施策名	農村地域の活性化						達成状況	施策指標(単位)						達成率(%)	
	地域住民がコミュニティの維持・保全活動に積極的に取り組み、都市との交流が盛んに行われ、活力ある農村社会が形成されています。							H19:基準	H20	H21	H22	H23	H24:目標		
施策目標							都市農村交流参加者数(千人)	---	目標値	目標値	目標値	目標値	目標値	---	
施策を取巻く環境	都市住民の農業・農村や自然へのニーズが年々高まっているなか、地域の人材や資源を十分に活用した地域が主体となった取り組みなどによる都市住民と農村の交流を通して、農村地域の活性化を図る必要がある。							実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	---		
市民の 施策満足度	37.1%	施策の 評価	達成度 (単年度目標)	達成している (90%以上)	概ね達成 (70%~90%未満)	達成していない (70%未満)		説明	多くの市民が交流施設を利用したりイベント等に参加するなど、地域の活性化に寄与しているが、さらに市民ニーズを踏まえ交流人口の増加を図る必要がある。	---	1,299	1,312	1,325	1,338	1,351
市民の 施策重要度	62.1%		必要性 (住民・社会ニーズ)	増加している	横ばい	減少している		説明	都市住民の「農」に対する関心は高まってきており、本市の農業振興や食への理解促進を図るため、都市と農村の交流は重要である。	1286	1,312				---
			効率性 (事務事業の進捗)	十分である	不十分な事業が 一部ある	不十分な事業が 複数ある	説明	各事業を通して地域の活性化や都市住民のニーズに対応しているが、更なる交流人口の増加と、関係機関と連携した事業内容の充実が必要である。	---					---	
			有効性 (政策目標への効果)	十分である	やや不十分である	不十分である	説明	各交流施設や関係機関、地元農業者等と連携し市民ニーズに対応した各事業を実施していることから、農村地域の活性化に寄与し効果をあげている。						---	
								現状 課題 抽出	目標は達成しているが、さらに農村地域の活性化を図る上で、地域農業者や関係団体が連携し、都市住民に向け情報発信し地域の特色を活かした交流メニューやイベント内容を充実させ、都市住民が農にふれあえる機会を創出し、さらなる交流人口の増加を図る必要がある。						

3 今後の取組方針

取組の 考え方	農村地域の活性化を図るため、農業者や地域団体と連携した農業・農村ふれあい交流事業の実施や、農林業祭などのイベント内容の充実や農林公園を適正に管理運営しながらさらに多くの市民に親しまれるよう、魅力向上を図っていく必要がある。	→	政策評価 会議意見	地域住民が生活環境の保全やコミュニティの維持に取り組むとともに、地域資源を有効活用した都市と農村の交流事業や農林業祭等のイベント開催などにより、多くの市民等との交流を促進することで、農村地域の活力や魅力が向上し「農村地域の活性化」が図られているものであるが、さらに「農林業の付加価値を高める」ため、都市と農村との交流を通して一人ひとりの身近な行動が、本市農業の持続性に貢献できることについて理解促進を図り、地元農産物を積極的に選択し地元農家を買ひ支えるなどの行動を喚起するとともに、農林業の持つ公益的機能の重要性を広く周知するなど、市民の農林業や農村の価値の再認識につなげていくこと。
------------	---	---	--------------	--

4 施策を構成する事務事業一覧

No.	事業名	対象者	開始年度	活動指標等	H19	H20	H19	H20	優先度	事業の方向性	施策目標を達成するための取組方針
					目標値	目標値	事業費	事業費			
					実績値	実績値	(千円)	(千円)			
1	農業・農村ふれあい交流事業	宇都宮市民を含む都市住民及びふれあい交流事業を実施する団体	H17	交流事業開催数	4	7	393	1,938	A	拡大	都市と農村の交流は促進されているが、より充実した交流事業を行い農業への理解を深めてもらうため、地元農業者が主体となった受入体制づくり、それぞれの関係団体間の連携など事業の支援を拡充する必要がある。
					4	13					
2	農林公園整備費	来園者(市民、地域農業者、都市住民)	H8	来園者数	950,000	1,099,000	72,313	53,035	A	継続	平成20年4月より指定管理者となった民間業者と連携し、更なる集客向上を図るとともに管理運営が適切に実施されるよう事業を監視するモニタリングを行い、適切な監督指導により将来に渡って魅力ある農林公園として維持していく必要がある。
					872,464	998,539					
3	地域交流館整備事業	来館者(市民、都市住民)	H20	来館者数	--	240,000	--	10,210	B	継続	地域外住民と地域住民の交流事業をより充実させ、質の高いサービスを提供し、利用者の満足度向上に努めるためには、民間事業者のノウハウが不可欠であり、来年度から、指定管理者制度を導入していく。
					--	237,106					
4	農林業祭開催交付金	宇都宮市農林業祭開催委員会	S37	参加団体数	34	35	3,800	3,100	B	継続	農林業に対する理解と関心は深まっているが、更なる幅広い市民の参加を促すために、関係団体と連携しイベント内容の充実や効果的なPR方法を検討することが必要である。
					34	35					
5	むらづくり総合振興対策事業	むらづくり推進協議会	S60	各地区における交流事業開催数	40	45	72	80	B	継続	地域団体の取組みが充実するために、地域ごとの特色を生かし事業が行えるよう都市住民のニーズ情報などを提供するなど、地域独自の取組みを支援する必要がある。
					38	37					
6	農産加工管理運営事業	篠井地区ゆたかなまちづくり協議会	H3	利用回数	120	120	1,937	1,937	B	継続	地元農産物の特産品等の開発や、地域と連携した自主的な加工体験教室を通して、都市住民の農業に対する理解を深めるとともに農村地域の活性化に貢献していることから事業を継続する。
					83	106					
7	宇都宮さつき&花フェア推進事業	宇都宮さつき&花フェア実行委員会	H8	来場者数	36,000	36,000	2,781	2,760	B	継続	市花「さつき」を全国にPRするとともに、本市の農林業の振興に寄与するために、来場者ニーズに対応した会場の見直しや企画内容の充実を検討するとともに、効果的にPRを行っていく必要がある。
					39,000	36,000					
8	体験農園設置事業補助金	市内各小中学校の食育体験事業を実施する団体	H12	実施団体	89	93	6,560	6,440	C	継続	児童・生徒たちが農業体験を通して、地域、農業者と交流を図ることは、教育的効果と地域農業への理解を深めるために効果的であることから今後も事業の実施を支援していく。
					89	92					
施策事業費合計							87,856	79,500			